



平成 22 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 エンシュウ株式会社
代表者名 代表取締役社長 中安 茂夫
(コード：6218 東証第 1 部)
問合せ先 専務取締役管理本部長 千賀 伸一
(TEL053-447-2111)

特別損失(異常操業度損失)の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社において、下記のとおり特別損失(異常操業度損失)を計上することとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 8 月 7 日に公表した平成 22 年 3 月期(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)の業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失(異常操業度損失)の計上及びその内容

輸送機器他関連事業部門において、主力製品の生産が大幅に減少したことに伴い、設備稼働率が低下したために発生した異常操業経費を異常操業度損失として特別損失に計上することとなりました。

特別損失計上額

第 3 四半期連結累計期間(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日) : 652 百万円
第 3 四半期連結会計期間(平成 21 年 10 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日) : 202 百万円

2. 業績予想の修正

平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,500	△1,500	△1,550	△2,350	△37.13
今回修正予想(B)	14,580	△2,590	△2,530	△3,290	△51.98
増減額(B-A)	△4,920	△1,090	△980	△940	—
増減率(%)	△25.2	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 3 月期)	41,562	311	△165	△636	△10.06

3. 業績予想修正の理由

当社グループの工作機械関連事業部門におきましては、設備投資需要の落ち込みが依然として厳しい状況にあり、原価低減や経費削減に努めてまいりましたが、売上高及び損益とも前回発表値を大幅に下回る見込みとなりました。

以上により、平成 22 年 3 月期通期の連結業績予想を修正いたしました。

4. その他

上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる可能性があります。

以 上